



2019年
11月25日
No.1

貨物労連情報

日本貨物鉄道労働組合連合会
発行人:高木康之
編集人:茂木正和

第29回貨物労連定期大会開催

11月24日、東京・目黒さつきビルにおいて第29回貨物労連定期大会が開催されました。

大会は木綱副委員長の司会で始まり、議長団には京葉臨海労組から大津代議員、FL労組から関口代議員の両名が選出されました。労連執行部を代表して高木委員長からは①災害が多く発生したが、貨物労連組合員の努力によってライフラインを確保した。②貨物会社は上期で経常黒字を計上。鉄道貨物輸送に対する期待は高まっている。③青函トンネルの共用走行の問題は組合員の雇用と生活にかかわる問題。JR総連と連携して取り組みを進めていく。④南関東ロジで組織拡大を実現した。大きな流れにつなげていこう。などと挨拶を行いました。



〈大会を牽引した議長団〉

大会には、JR貨物より真貝社長・永田取締役・遠藤常務執行役員をはじめとして多くのご来賓に参加をいただきました。またF経連より上子代表幹事、北関東ロジより島田取締役に参加いただき、またJR総連より永島政治部長、八幡政策部長、そして鉄道ファミリーより村田社長に参加いただきました。

質疑は全体で12名から発言があり、内容は①ロジの人事制度の内容が見えてこない。分かっていることを教えてほしい。②委託費を見直さないと業務を継続することが難しい。算出方法の改善を求めたい。③労働者代表制が今後議論されるが、導入されると影響が出る可能性がある。④災害に対して命を守る行動が必要。⑤人事制度は働きがいのある制度なのか。現場の声を聴いてほしい。⑥欠員状態が続き、休日出勤や時間外労働が継続している。⑦会社が合併したが、いまだに賃金制度が統一されていない。など各単組の抱えている問題点が発言されました。

各単組の発言を労連として連携して取り組むことを確認し、最後に高木委員長の団結ガンバローで終了しました。

今回の大会で事務局長が交代となりました。これまで事務局長を務めていただいた田中さん大変お疲れさまでした。



〈退任された田中さん〉



〈新事務局長の茂木さん〉